

## 高次脳機能障がいをご存じですか？



「高次脳機能障がい」という言葉を聞いたことがありますか。今回は、あまり聞き馴染みのないこの障がいについてご紹介します。

## 高次脳機能障がいとは

けがや病気によって脳が損傷を受けたことで起こる症状のうち、記憶・注意・思考・言語などの脳機能がうまく働かなくなり、日常生活、社会生活に制約がある状態をいいます。次のような障がいがあります。

- ▼記憶障がい 物の置き場所や新しいことを覚えていられない。同じことを質問してしまう。
- ▼注意障がい 二つのことを同時に行えない。集中が続かない。不注意が増える。
- ▼遂行機能障がい 物事を計画的に行えない。段取りが悪い。
- ▼社会的行動障がい 怒りやすい。欲しいものを我慢できない。子どもっぽくなる。相手を思いやることができず、良い人間関係をつくれない。

高次脳機能障がいは、外見から分かりづらいという特徴がありま

す。この特徴から周りの人から誤解されたり、配慮に欠ける対応をされたりするなど、当事者や家族がづらい思いをすることも少なくありません。

## 高次脳機能障がい者への配慮の例

- 高次脳機能障がいを疑うようなケースの場合には、次のような配慮が必要です。
- 大事なことはメモに書く
- よく使うものは決められた場所に置く
- こまめに休憩をとり、集中できる環境を整える
- 一度に多くの指示をしない
- 感情が抑えられなくなったときは場所や話題を変える
- 仕事や作業の手順は、分かりやすく示す
- 必要な配慮の内容や程度は、個人によって違いがあります。障がいのある方の立場になって、どのような配慮や支援が必要かを考えることが大切です。

## ■問合せ先

障がい者基幹相談支援センター  
☎055(262)1274